

《 今日の主なニュース 》

～ 日経ニュースなどを中心に抜粋 ～

◆インフル異例の早期流行 2025年と別ウイルス拡大、大型連休控え警戒

・例年は晩秋から春先にかけて流行するインフルエンザが、2026年は8月という異例の早さで全国流行入りした。原因は不明だが、昨シーズンには主流とならなかったタイプのウイルスが広がりつつある。日本と往来が盛んな台湾など東アジア地域でも流行が拡大中で、旅客が増加する大型連休を控え、専門家は警戒を強める。

◆4～6月需給ギャップ、改定値もプラス0.7% 4兆円の需要超過

・内閣府は日本経済の需要と供給の差を表す需給ギャップが2026年4～6月期はプラス0.7%だったとの推計結果を公表。8日公表のGDP改定値に基づき試算。24年10～12月期から7四半期連続のプラスで、年換算で4兆円の需要超過となる。政府がデフレからの脱却を巡り重視する指標の一つで、プラスになると物価を押し上げる圧力がかかる。

◆高度外国人材の来日が2025年秋から減少 AI普及で求人減、審査厳しく

・右肩上がりで増えていた高度外国人材の来日が2025年秋に減少に転じたことが分かった。人工知能（AI）の普及によりITや通訳・翻訳の求人自体が減ったとみられる。在留審査を厳格にした影響との見方もあり、傾向は長期化する可能性がある。出入国在留管理庁のデータを日本経済新聞が分析した。

《 業界ニュース 》

～ 日経ニュース・日刊工業新聞・新建ハウジングなどを中心に抜粋 ～

◆東京製鉄、10月契約で鋼板値上げ 3カ月ぶり

・東京製鉄は鋼板の販売価格を10月契約分から引き上げると発表。値上げは全品種を値上げした7月契約以来、3カ月ぶり。鋼板類の値上げ幅はホットコイルが3000円（3%）高い1トン10万3000円、厚鋼板が2000円（2%）高い同11万円などとしている。電力などエネルギー代の高騰や、原料である鉄スクラップの先高値を受け、値上げで採算を改善。

◆ガソリンスタンドの廃業・倒産10年で最多 1～8月、帝国データ調べ

・帝国データバンクがまとめたガソリンスタンドの1～8月の休廃業・解散は144件と、前年同期に比べ13%増え過去10年間で最多。人口減少や高齢化、電気自動車（EV）などの普及による燃料需要の減少が響いた。負債1000万円以上の法的整理による倒産と、法的手続きを取らずに事業活動を停止した休廃業、解散を対象に集計。

◆リ推協、標準契約書など改訂 10月1日発売 改正建設業法に対応

・住宅リフォーム推進協議会は、2025年12月に全面施行された改正建設業法に対応した令和8年度版「住宅リフォーム工事標準契約書」および「住宅リフォーム工事標準注文書・請書（小規模工事用）」の受注受付を10月1日開始。リフォーム工事を取り巻く社会状況の変化に対応するため約款や契約書面を改訂。発送は10月7日以降を予定。

《 注目商品 》

■DAIKEN、業界初の多彩塗装技術の床材

・従来の天然木突板や化粧シートを基材に貼る工法ではなく、基材表面にデジタル制御で直接高精細な塗装を施した床材。直接塗装により意匠表現の自由度が向上し、従来は量産や施工の難易度が高かったヘリンボーン調、パーケット調などの複雑なデザインにも対応。

■リンナイ、ガス温水衣類乾燥機「温水式乾太くん」

・ガス温水衣類乾燥機「温水式乾太くん（かんたくん）」を発売。「温水式乾太くん」は、ガス給湯暖房機の温水を温風に変えて、ドラム内の衣類を乾燥します。ガスで沸かした温水を活用し、衣類6kgを約84分、電気ヒートポンプ式の半分以下の時間で仕上げる。

■Deto、便座交換できるタンクレストイレ

・便座だけを交換できるタンクレストイレ。ほとんどのタンクレストイレは便座が破損すると便器本体ごとの取り換えが必要だったが、本製品は便座だけを取り替えられ、コストを抑えることができる。前出寸法645mmの業界最小クラスのコンパクト設計。

